

創業以来、「お店はお客様のためにある」という哲学のもと、「人のお役に立つ」=「自分の喜び」につながる経営を目指して、時代の移り変わりと共に歩んでまいりました。

経営理念

創業者大高善雄は、「一人のお客さまは10軒20軒の代表である。野越え山越えはるばるのお店において下さるお客さまに誠実の限りを尽くせ」「商人である前に立派な人間でなければならない」との創業精神を掲げ、今日のヨークベニマルの基礎を築きあげました。この「野越え山越え」の創業精神の基となったのが“ヨークベニマル12章”です。

私たちヨークベニマルで働くすべての従業員の行動規範として守り続けます。

ヨークベニマル12章

- [第一章] 商売はお客さまのためにある。まず、お客さまの利益を考えよ。
- [第二章] 一人のお客さまに誠実を尽せ、これが野越え山越えの精神である。
- [第三章] 給料はお客さまから頂くもの、前のお客さまがあなたの主人。
- [第四章] 食べ終わった時が販売の完了、まさかっいたらいつでも返金せよ。
- [第五章] 自由に気軽に選びよく、品揃えと、衛生管理を怠るな。
- [第六章] 経費を節約、安値を打ち出せ、これが最大のサービスなり。
- [第七章] おいしいことが絶対の条件。品質と鮮度がお店の生命である。
- [第八章] オトリ商法ではお客さまを釣れない。全商品が平均して安いこと。
- [第九章] 広告にウソやハッタリは禁物。お客さまは一度はだませても、二度はだませない。
- [第十章] 新製品を開発せよ。これが家庭の文化をつくる。
- [第十一章] お客さまの声は神の声、なんでも聞いて改めよう。
- [第十二章] 言葉や態度が店相をつくる。あなたはお店の代表である。

経営のビジョン

小商圏で繰り返し来店されるお客様の日常の食卓をより楽しく・豊かに・便利にする生活提案型スーパーマーケットの確立

ヨークベニマル企業倫理

お客様との関係

ヨークベニマルが実現すること

繰り返し繰り返しご来店される地域のお客様の食卓をより楽しく豊かに便利にいたします。

そのためには基本の4つの項目を大切にいたします。

1 明るい元気な挨拶

2 清潔な売場

3 鮮度と味の追求

4 豊富な品揃え

お取引先との関係

お取引先との取引にあたっては法令や社会規範に照らして、常に「公正であること」。わたくしたちの行動によって、取引の公正さが損なわれれば、お取引先に対してご迷惑をおかけするばかりでなく、会社全体の問題として法令違反を問われ、社会から信用を失う恐れがあります。謙虚な姿勢で礼儀正しく行動します。

地域社会・国際社会との関係

- 地域のニーズを把握するために、お客様とのコミュニケーションを図るとともに、地域へ関心を持ち、各種の地域活動にも参加します。
- 地域に根ざした会社であるという事を認識して、各地域の掃除に学協会への参加など事業活動を通じた、安全安心なまちづくりに貢献します。
- 国内の問題だけでなく、人権や環境など国際的な社会課題にも関心を持ちます。

雇用・職場環境

私たちは、平等に基本的人権を有しています。一人ひとりの人権が尊重される職場を実現します。「働き方改革」により付加価値の高い仕事にチャレンジし、「日本一明るく元気な会社」を目指します。

私たちは、この行動基準に基づいて事業活動を行います。

